

1 「1人1台端末元年」を迎えた公立中学校 端末整備が広がる公立高校

令和3年8月に公開された文部科学省「端末利活用状況等の実態調査（令和3年7月末時点）」によると、全国10,165校の公立中学校等のうち、**91.0%**が「**全学年で利活用を開始**」、**5.5%**が「**一部学年で利活用を開始**」と回答しています。「利活用を開始していない」と回答した3.5%の学校でも、大半が「令和3年度中に開始する予定である」との見通しです。“端末の利活用”の基準や具体内容は明らかにされていないため、必ずしも教科の学習に利活用されているとはいえませんが、**来年度、高校に入学する生徒も含めて、ほとんどの公立中学生は1人1台端末での学びを経験していること**になります。

公立小中学校は国主導で端末整備が進められた一方、公立高校では各都道府県での検討となっており、整備期間や費用負担の方針が異なります。令和3年8月時点では、11県で令和2年度に整備を完了、8府県が令和3年度中に整備するとしています。また、新課程の始まる令和4年度入学生から導入する自治体も多いようです（表1）。

表1 公立高校における端末の整備状況（見込み）

整備期間	都道府県 (費用負担方針：設置者負担・保護者負担・検討中)
令和2年度に完了	秋田・群馬・福井・岐阜・和歌山・山口・徳島・愛媛・佐賀・長崎・大分
令和3年度中	青森・富山・大阪・高知・熊本・石川・福岡・千葉
令和3～4年度	長野
令和3～5年度	茨城・広島・鹿児島
令和4～6年度	北海道・岩手・山形・福島・東京・新潟・山梨・三重・滋賀・京都・兵庫・奈良・鳥取・島根・岡山・宮崎
検討中	埼玉・静岡・宮城・神奈川・栃木・愛知・香川・沖縄

※文部科学省資料「公立高校における端末の整備状況（見込み）について（都道府県別）（令和3年8月時点）」より作成。

2 1人1台端末を見ずえた 高校向け学習者用デジタル教材のご案内

帝国書院では、1人1台端末を地歴・公民科の学びに効果的に活用できるよう、**令和4年度から高校向けの学習者用デジタル教科書・教材のラインナップを充実させます。**

(1) 学習者用デジタル教科書／デジタル資料集

【学習者用デジタル教科書】

- ・令和4年度発行の新課程教科書のすべての書目『新詳高等地図』『標準高等地図』『高等学校 新地理総合』『明解 歴史総合』『高等学校 公共』を発売します。
- ・地理総合、歴史総合、公共の学習者用デジタル教科書は特別支援機能を搭載します（総ルビ表示・読み上げ・リフロー表示・白黒反転表示）。

【デジタル資料集】

- ・『新詳地理資料 COMPLETE 2022』『ライブ！2022 公共、現代社会を考える』に加え、新刊『明解 歴史総合図説 シンフォニア』の3書目で「クラウド配信版」と「セット版（書籍+クラウド配信）」を発売します。



デジタル資料集の詳細はこちらから↑

学習者用デジタル教科書・資料集は「**拡大表示により細かい箇所まで読み取ることができる**」「**直接書き込みができ、やり直しや表示・非表示の切り替えが簡単にできる**」といったメリットがあり、地歴・公民科で重視されている**図版・写真・資料を読み解く力の育成**につながる活用が期待されます。

すでに先行して学習者用デジタル教科書・教材の利用が始まっている中学校では、「**授業で課題を出したのち、まずは自分の考えをデジタル教科書の図に直接書き込ませ（個別学習）、その後、グループで話し合った結果気づいたことを別の色のペンで書き込ませる（協働学習）**」といった活用も行われています。

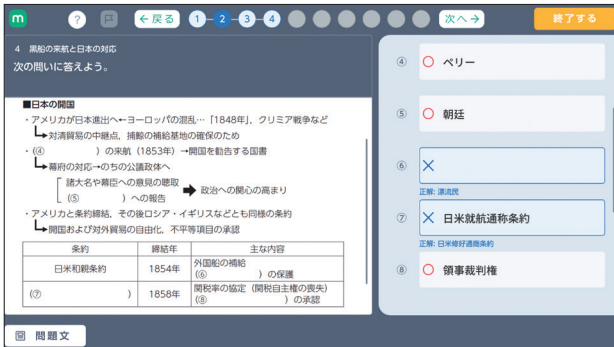
(2) デジタル準拠ノート

【デジタル準拠ノート】

- ・新課程教科書『高等学校 新地理総合』『明解 歴史総合』『高等学校 公共』の準拠ノートをタブレット用に再構成したもので、正誤自動判定機能や教員用管理機能を搭載します（[図1](#) [図2](#)）。



デジタル準拠ノートの詳細はこちらから↑



[図1](#) [図2](#) 「デジタル準拠ノート」の画面イメージ

※開発中のため、実際の商品画面とは異なります。

デジタル準拠ノートは、準拠ノートをタブレット用に再構成したことで、学習日時や正答数などの学習履歴データ（スタディログ）を把握することが可能です。

先行して発売を開始している中学校版では、ご採用校から「正誤が自動判定されるため、生徒は効率的に知識の定着を確認できる」「管理用 Web サイトで課題への取り組み状況や達成度を確認できるため教員の仕事効率化もはかれる」「データをもとに、定期試験では収録されている問題の類題や改題を出題できる」といったメリットがあげられており、先生方の事務的な作業負担を減らしつつ、各生徒の状況を可視化し、きめ細かな指導を行えることが期待できます（[図3](#)）。

達成状況	帝国太郎	まなぶる花子	鈴木地固夫	歴史はじめ	公民友子
1 北アメリカ州の自然環境 →1	未	未	未	未	未
1 北アメリカ州の自然環境 →2	未	未	未	未	未
2 移民の歴史と多様な民族 構成	未	未	未	未	未
3 大規模な農業と多様な農 産物 - 1 ○ 提出期限: 2021/03/23	2021/03/22	未	2021/03/19	未	2021/03/17
3 大規模な農業と多様な農 産物 - 2 ○ 提出期限: 2021/03/23	2021/03/22	未	2021/03/19	未	未

[図3](#) Web上で学習状況を確認できる教師用管理画面（中学校版）

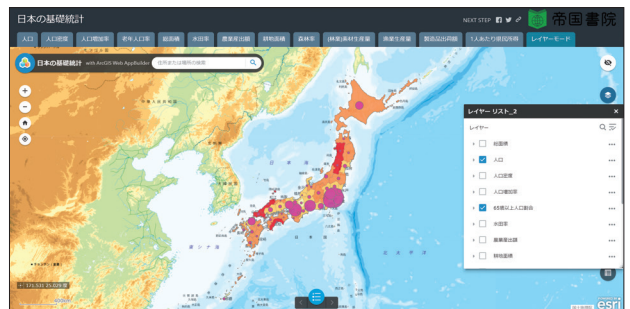
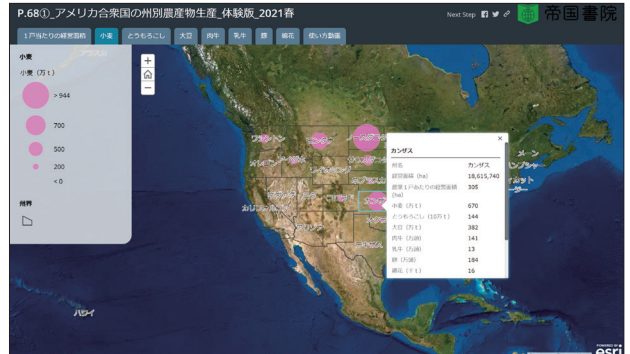
(3) WebGIS

【地理統計 Plus - WebGIS 付き -】

- ・さまざまな統計資料と、国旗解説・国別資料が掲載されている書籍です。
- ・書籍に掲載されているQRコードから、デジタルコンテンツ「統計見えマップ」を使って600項目以上の統計データをWebGISで地図化できます。



「統計見えマップ」のサンプルはこちらから↑



[図4](#) [図5](#) 「統計見えマップ」WebGISの画面イメージ

※開発中のため、実際の商品画面とは異なります。

令和4年度からの新必修教科目「地理総合」の軸の一つとして、GISの活用がうたわれています。例えば『高等学校 新地理総合』教科書では、QRコードを読み取ると誌面の内容と関連した10テーマのWebGISとして表示できる「アクセス WebGIS」を収録しています。

副教材『地理統計 Plus - WebGIS 付き -』のQRコードからアクセスできる「統計見えマップ」では、600項目以上の統計データをテーマ別・地域別などで検索し、WebGISで地図化することができます。複数の要素を重ね合わせて表示させることもでき、情報活用能力を育成することができます（[図4](#) [図5](#)）。

インストール作業は不要で、インターネットブラウザ（スマートフォン含む）とインターネット環境があれば豊富な統計地図をいつでも・どこでも確認することができます。受験対策の新たな武器として、現行課程の「地理B」を履修する生徒さんにもお勧めいたします。

それぞれの商品の価格等の詳細は帝国書院ウェブサイト等に掲載しております。ぜひご検討ください。